



令和4年度 霧島市立中津川小学校 学校便り

令和5年2月17日 発行

梅檀～せんだん～

児童数（令和5年2月17日現在） 男子10名 女子7名 計17名
R4キャッチフレーズ【 **挨拶があふれ 夢にあふれ 笑顔あふれる学校** 】

他者を価値のある存在として尊重し謙虚に学ぶ姿勢を持ちたい

校長 福永 雅一

2月に入り、毎週、寒い週と暖かい週が交互にきているようで、少しずつ春が近づいてきたかな？と感じています。コロナ感染症も一時期増えましたが、現在、前の週を下回る日が続いています。国の方針で3月中旬には、マスクの着用も大幅に緩和されそうです。インフルエンザについても、1月にインフルエンザ流行発生注意報が発令されていましたが、現在は落ち着いているようです。引き続き感染症対策に努めていきます。

さて、先日、ある会に出席したときに、教育長から「義務教育の役割と責任」として学習指導要領の前文について話がありました。そこには、次のことが書かれています。

これからの学校には、(略)一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

私が、この中で今回注目したのが『あらゆる他者を価値のある存在として尊重し』という部分です。会に出席すると丁度同じ頃にインターネットでつぎのような記事を目にしました。

贅沢を嫌い、投機やギャンブルを嫌っていた経営の神様・稲盛和夫氏も、鹿児島大学在籍時代に、実はパチンコ店に通っていた。ガリ勉で、講義のないときは図書館で勉強だけをしているような人物だった稲盛氏を遊び人だった友人が強引にパチンコへ連れ出したのだという。

行きたくないパチンコに連れ出され、落第もしていたので若干軽蔑もしていた友人に対して内心、「パチンコなんかに行くから落第するんだ」と思っていたようだ。そんな中、友人は100円だったか200円だったか、『あなたもしなさい』と稲盛氏に渡してくれたのだという。

しかし、稲盛氏はすぐに負けてしまう。別の日も、すぐ負けるというのが3回ほど続いたそうだ。

これまでのように「帰るわ」と声をかけて帰路につこうとする稲盛氏を、その日は友人が引き止めた。「今いっぱい勝っているし、もうちょっとで終わるから、ちょっと待ってよ」と。稲盛氏は待っている間、「パチンコなんて楽しくもないし、早く帰って勉強したい」と思っていたそうだが、その友人は待っていた稲盛氏にうどんをおごってくれたのだという。当時としてはなかなかのごちそうだったそうだ。

自分のお金を渡して、『あなたも楽しみなさい』と楽しませてくれているのに、人間ができていないガリガリ亡者のガリ勉の私（稲盛氏）は、自分だけがやって、面白くないわと思っているわけです。「毎日学校と図書館しか行き来していない、下駄を履いてウロウロしている奴を連れてきて、お金を出して社会見聞をさせてくれる。挙げ句の果ては、2回までは見過ごして、3回目には『それがわからんのか』と言わんばかりに、『ちょっと待ってよ』と待たせる。わからないものだから、ますますイヤになってくる私に、最後、自分が勝ったお金でうどんをご馳走する。今まで軽蔑していた男が、みるみる大きな人物に見えてくるわけです。私は少しぐらい勉強ができて、なんと貧相でチンチクリンな男よと、衝撃を受けたことがありました』

口くでもない友人からも、学ぶべきことを吸収してしまうというところに、稲盛氏の「謙虚に他人から学ぶ姿勢」というものが垣間見える。

この記事を見ると、経営の神様と言われたあの稲盛氏でさえも「他者を価値のある存在として尊重していたのか！」と思えてきます。2歳から7歳くらいまでの子供は、常に自分が世界の中心にいて、自分を客観視することや自分とは違う考え方・気持ちがあるということを理解出来ないといわれています。しかし、こうした考え方や気持ちは、7歳から11歳頃にいろいろな視点から物事を見ることができるようになると次第に解消され、客観的・論理的思考ができるようになると言われています。（当然のことながら、子供の発達には個人差があります。）まわりが見えるようになると、「その考え、いいね。」「私も真似てみよう。」「私もそんなふるまいをしてみよう。」「〇〇さん、すごいなあ。」など、他者を意識してきます。

他者を尊重できるようになるには自己肯定感を持つということも大切です。また、他者を尊重する行動は、尊敬、公正、親切、思いやり、礼儀、謙虚、利他、貢献、感謝などの考え方を持つことができるようになることも必要でしょう。（他にもあると思いますが）

他者には、善悪を含めて「自分にはない何かがあるはず。」「きっと、多くのことが学べるんだ。」というように自分以外の人を見ていくと、今とはちがった景色を見ることが出来るようになると思います。

1月の行事より

1/13 【避難訓練】地震後の火災想定

北消防署から3名の消防士に来ていただき、自分の命を守る行動や消火器の使用について教えていただきました。全職員・全児童が実際に水消火器を使って、初期消火の訓練をしました。



《消火器の使い方：合い言葉「ピノキオ」》
 ピ：ピンを抜く ノ：ノズルを取る
 キ：気を落ち着ける オ：レバーを押す



1年生も上手に跳べるようになりました。



1/20 【食に関する指導】

栄養教諭の寺師先生から給食の食材の栄養やどんな朝食の献立にすれば、バランス良く摂取できるかについて、子供たちの考えた献立をもとに、分かりやすく教えていただきました。各学年の発達段階に応じた指導を丁寧にしていただきました。



1/27 【なわとび大会】

なわとび大会に向けて、それぞれがチャレンジする種目を練習してきました。地域や保護者の皆さんも多数応援に来ていただき、子供たちは、短縄や長縄跳びをみんなと楽しくすることができました。

構成的グループエンカウンターについて学習

1/27 【家庭教育学級】

教育カウンセラー協会鹿児島県支部の福山孝一様に「構成的グループエンカウンター」について講演をいただきました。ふれあい仲間づくりとして構成的グループエンカウンターの実地で、エクササイズを体験すると、全員が笑顔で取り組んでいました。



1月25日は、雪が積もりました。子供たちは、雪遊びを楽しんでいました。

2・3月の主な行事予定

- 22日(水) 餅つき体験 (3校時)
- 27日(月) 琴体験教室 (2・3校時)
- 28日(火) 卒業式練習①

-
- 1日(水) 学校参観日
学級PTA・学校保健委員会
 - 3日(金) お別れ遠足 (和気神社)
 - 8日(水) 卒業式練習②
 - 11日(土) 土曜授業
 - 14日(火) 卒業式練習③
移動図書
 - 16日(木) 卒業式予行練習
 - 20日(月) 卒業式準備①
 - 22日(水) 卒業式準備②
 - 23日(木) 卒業式
 - 24日(金) 修了式・離任式
 - 27日(月) 小中連絡会



学校ホームページもご覧ください。
 ブログも更新しています。